

障害者就労継続支援B型ワークセンターファースト

基本方針

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、個人の尊厳を重んじ人権の尊重に努め、一人ひとりのニーズや思い、希望に寄り添っていく支援を行っていきます。

目標

事業計画が具体的に実施できるよう職員間の意識の共有を図り、「チームワークで築く信頼関係」をスローガンとして職員全員で努力します。また、利用者がエンパワメントできるように、地域での社会生活や社会参加への推進のための支援をします。

定員、作業時間、職員配置状況

1	利用定員	10名		
2	作業時間	9:30 ~ 16:00		
3	職員配置状況	職員常勤 5名(内兼務2名)	職員非常勤	1名

事業計画

- 利用者一人ひとりの人格を尊重して、自己選択、自己判断、自己決定の保障をし、就労継続支援と社会生活支援を個別支援計画に基づき行います。
- 授産活動での収益と顧客の増加に努め、授産収益の黒字転嫁をめざします。
 - ミニバック株式会社
衛生用品の不純物の取り除き、袋詰め
 - 菊水酒造株式会社
お酒の化粧箱へのシール貼り、掛け紙折り等
 - 株式会社土佐の風
大豊町特産の銀不老豆選別・袋詰め、碁石茶の選別・袋詰め、セット作り
 - 大豊町碁石茶協同組合
碁石茶の選別・袋詰め、碁石茶ティーバッグ箱詰め
 - 農作業
従来より少し耕地面積を広げ、収穫した野菜は地域の施設や個人に販売し、また銀不老豆は栽培・量産して大豊町銀不老生産組合に販売。
- 利用者の稼働率アップに取り組みます。
 - 利用者12名の確保と、1日平均9名以上の稼働率を目標とします。
- 社会参加や地域との交流機会を増やします。
 - あったかハートふれあい大会や大豊町文化祭、地域のイベントに係わり販売活動に努めます。
- ファーストの仲間づくりと社会生活力増進に努めます。
 - お花見や社会見学、外出時の買い物等の機会を増やして経験していき、個人でも活動が出来るように支援していきます。
- 嶺北地域の自立支援協議会では、平成26年度はひきこもりを一人でもなくしていく取り組みをしていこうとしています。このことにファーストも協力し出来ることで支援していきます。